

「消防学校ニュース」

平成 28 年 4 月 15 日発行

◆第 85 期初任科入校式 — 新しいスタート —

平成 28 年 4 月 1 日、副校長、教官 3 名の 4 人が定期異動で着任し、新体制の下で平成 28 年度が始まりました。

4 月 6 日(水)午前 10 時から第 85 期初任科 115 名(県内 16 消防本部)の入校式を行いました。初任科生は本年度採用されたばかりの消防士で、消防の知識、技術、心構えなど消防士としての基本を消防学校で身に付けていきます。

入校式では、外岡達朗静岡県危機管理監、望月昇静岡県消防長会会長(静岡市消防局長)から大きな期待と力強い励ましの言葉をいただきました。御出席いただいた県内各消防本部の消防長や御家族など多くの皆様の温かい眼差しが注がれる中、半年にわたる厳しくも愛情ある訓練生活がスタートしました。

静岡県危機管理監祝辞



静岡県消防長会会長祝辞



学生入校受付風景



入校生代表宣誓



消防学校長式辞



【消防学校の1年】

消防学校では、前年度に定めた教育訓練計画に基づき、年間を通して消防職員や消防団員、その他防災関係者などを対象に教育訓練を行っています。

消防職員初任教育初任科(前期 4 月～9 月、後期 10～3 月)は、新たに消防職員に採用された学生(平成 28 年度 154 名)に対し、消防職員としての服務義務や消防の現場に必要な知識、技術等消防業務全般を身に付けさせるもので、6 ヶ月の期間を掛け、学校・教職員をあげての教育訓練となります。

夏から秋は消防職員の水難救助科等の訓練、“県民の日”の消防学校体験、消防団員の警防科等の訓練、防火関係者の訓練などと続きます。

入校式の消防学校

